

キラキラ輝く！ イングリッシュ



小園 健吾さん
肉用牛生産農家 就農 22年目

牛と田畑を守る、 現場の担い手

**家族の役割分担で支える、
持続可能な畜産経営**

財部町下財部で肉用牛の生産を行っている小園健吾さん。現在親牛64頭・子牛30頭を飼養するほか食用米4畝・家畜用飼料7畝を栽培しています。両親と協力しながら牛の生産に取り組んでいます。

■就農した経緯は？

財部高校在学中に、家業を継ぐために専門的な知識をつけたいと考え鹿児島県立農業大学校に進学しました。在学中には人工授精師の資格を取得しました。卒業後は指宿市にある牛の大規模生産農家にて研修を兼ねて勤務。そこで経営や飼養管理を学び将来、実家を継いだ際の規模拡大の参考にしたいと考えました。その後、財部町に戻り実家の後継者として就農しました。

■仕事内容は？

畑・田の管理・えさやり・人工授精などです。人工授精は1か月に約6頭程を行います。父が子牛の世話、母が子牛のミルクやりや母牛の管理を担当し、私が全体の管理を行うなど役割を分担しながら作業しています。

■気を付けていること

できるだけ牛の病気を早く見つけられるようによく観察します。便の状態、鼻水が出ている、頭を下げているなど普段と違う様子が見られた場合はすぐに獣医に診てもらいます。家族間でも牛の状態に変化があった際にはすぐに報告を行い、お互いの状況を常に把握することを心がけています。

■嬉しかったことは？

令和3年に畜舎を増設し、親牛を40頭から60頭に増頭できたことです。就農当初から規模拡大をすることが目標だったので嬉しかったです。

■大変なことは？

増頭により管理の時間が増えたほか、田畑の管理面積も広いので、稲や飼料の植え付け・収穫

■今後の目標は？

まずは安定して経営できる体制を築きたいと考えています。それから地元で耕作放棄地を増やしたくないという思いがあり、耕作が難しくなった方がいたら代わりに管理できるように、機械の導入などによる作業の効率化を進めたいです。畜産農家の会や消防団、コミュニティ協議会にも参加し情報交換を通じて地域を盛り上げていきたいです。



時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
行動	睡眠					起床	えさやり 牛の状態確認	朝食	田畑管理 人工授精 など	昼食・休憩	田畑管理 牛の状態確認	自由時間 夕食					睡眠								

3月のある日の
スケジュール